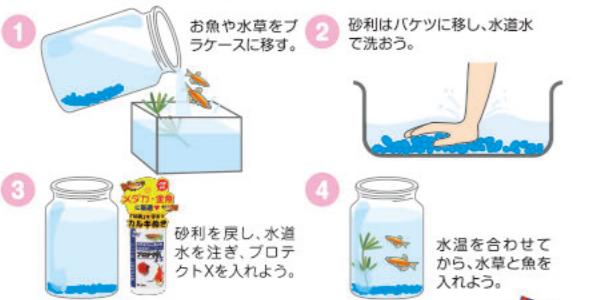


**ヒーターの使い方**

水温が低くなる場合は、パネルヒーターか観賞魚用ヒーターを使用しよう。小型容器の場合は容器の下に敷いて使用するパネルヒーターが便利だよ。

**ビンの水を替えよう**

水量が少なく水質が悪くなりやすいので、3日に1度水を交換しよう。

**優しくて便利な  
フィッシュネット**

“水ごとネットベタ”は、水と魚と一緒にすくえるので、魚が傷つきにくいよ。

**水槽の水を替えよう**

ろ過フィルターフィルターつきの水槽の場合、豊富な水量とろ過フィルターの効果で水質が安定するから飼いやすくなるんだ。水替えの目安も2週間に1回と長くなるよ。



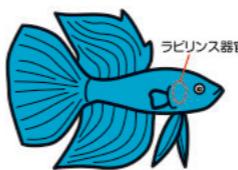
- ①総水量の1/3程度の飼育水をバケツにくみとり、その中でろ過フィルターのマットを軽く洗おう。
- ②空のバケツに水道水を注ぎ、カルキを抜いて水温を合わせる。
- ③水槽にゆっくりバケツの水を注ぎ、ろ過フィルターをセットしよう。

**エサの与え方**

1日に2・3回、食べ残しがでないように少量を複数回にわけて与えよう。食べ残したエサは水を悪化させてスプロイ特などを必ず取り除こう。

**ベタの魅力① ふしきなエラ**

ベタやグラミーなどアバスの仲間は、水面から空気呼吸ができるように、ラビリング器官という進化したエラをもっているんだ。だから酸素が少ない場所でも生きていけるんだよ。

**ベタの魅力② オスが子育て**

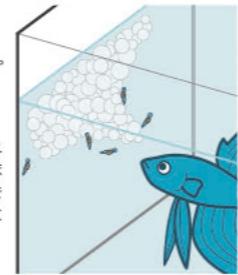
ベタやグラミーは、オスが泡巣をつくり、子供の世話ををするんだ。

**1 繭作り**

オスが口から出した泡で水面に泡巣を作るよ。

**2 産卵**

オスがメスに絡みつき、メスから産み落とされた卵を、オスが泡巣に運ぶんだ。オスは泡巣守り、卵の世話を続けるよ。メスは産卵後はすぐに別の水槽に移そう。

**3 孵化～稚魚の育て方**

泡巣の中にいる間の稚魚はオス親が世話をするんだ。稚魚が泡巣から離れ泳ぎ始めたらオス親も別の水槽に移そう。

**稚魚専用飼料**

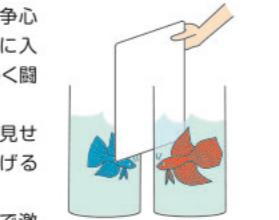
ふ化したばかりの稚魚は、とても口が小さく一般的な稚魚のエサや“ブラインシュリンプ”は食べられないで、最も小さい“クリーン ワムシ”を与えよう。

**ベタの魅力③ 別名「闘魚」**

別名「闘魚」と呼ばれるベタは闘争心が強く、オス同士を一緒に水槽に入れると、ヒレやエラを広げて激しく闘うんだ。

ショーベタは、ガラス越しや鏡を見せて定期的に威嚇させて尾を広げるトレーニングをするんだよ。

メス同士も小競り合いをするので激しい場合は別々にしよう。オスとメスも繁殖以外のときは別々に飼育してね。

**ベタの魅力④ 進化がすごい**

近年、「胸ビレが大きな“ダンボ”」・「大きなサイズの“ジャンボ”」・「鯉みたいな模様の“鯉ベタ”」など品種改良の進化がすすみ、人気がたかくなっているんだよ。



鯉ベタは上から見てもキレイなんだ。メスだけを群泳させると、違った魅力を楽しめるよ。(ケンカには注意してね)

みんなの  
人気者

ボトルで  
楽しむ

熱

帶

魚

小型容器で  
アカヒレやベタなどを  
飼育しよう!

## ボトルで 飼おう

アカヒレやベタなどは、小さくて酸素の消費量が少なく、水質の変化にも強いので、ビンやカップなどの小さな容器(水量 約500ml)でも元気に飼うことができるんだ。  
おしゃれなアクアインテリアを始めてみよう!



### ボトルアクアリウム

コップやビンの中で小さな自然を再現した“ボトルアクアリウム”という楽しみ方もあるんだ。観賞魚・植物・バクテリアによる自然界の循環を体験できるよ。飼育が上手にならたらTRYしてみよう。



\*密閉容器の場合は、少しだけフタを開けておこう。

## おすすめ 品種その1

### アカヒレ 混泳可能 適水温25°C(10°C~29°C)



**アカヒレ** [体長] 4cm  
中国広東省原産、赤い尾ひれが特徴。幼魚期はネオンテトラそっくりの色をしているよ。

### グラミー 混泳可能 適水温25°C(20°C~29°C)



**ゴールデン・ハニードワーフグラミー** [体長] 5cm  
長い胸ビレで興味がある物をタッチする姿がとても可愛いよ。



**ドワーフ・グラミー** [体長] 6cm  
強い赤色と青色の発色が美しい人気のグラミー。

**ピギミー・グラミー** [体長] 4cm  
もっとも小さなグラミー。動きがゆっくりで穏和だよ。

## おすすめ 品種その2

### ベタ ベタ同士は混泳不可 適水温25°C(20°C~29°C)



**トラディショナル・ベタ(青)** [全長] 7cm **トラディショナル・ベタ(赤)** [全長] 7cm  
一般的なベタはタイのメコン川流域原産の“ベタ・スプレンデンス”からの改良品種なんだ。また飼つための魚“プラガット”がつくられ、その色彩の美しさから鑑賞目的の“トラディショナル・ベタ”へ。さらに“ハーフムーン”や“クラウンテール”などの“ショーベタ”へと様々な品種へ変化しているんだ。



**プラガット** 原種に近い形。  
**ハーフムーン** 半月状の尾ビレ。  
**クラウンテール** 王冠のようなギザギザの尾ビレ。

\*飼育匹数の目安は500mlに1匹だよ。ベタはヒレの大きな魚を攻撃することはできないんだ。でもヒレが小さなアカヒレなどとは混泳できるよ。  
\*飼育可能な水温の範囲は目安です。なるべく適水温で飼育しましょう。  
\*ショーベタを飼う場合は4、5㍑程度の大きめの容器がおすすめだよ。

### 小型容器におすすめの水草



## はじめて みよう

日光が当たると水温が上がりすぎたり、コケが発生するので、直射日光に当たらない場所に設置しよう。また設置した日はエサを与えず、1週間は少なめにするのがコツだよ。

- 1 パケツで底砂を洗い、容器の底にしごこう。  
※底砂はゼオライトの効果で水をキレイに保つか  
ラーブルチサンダがおすすめ
- 2 水道水を注ぎ、粘膜を守るカル  
キぬき「プロテクトX」を入れよう。



- 3 水草などをレイアウトしよう。  
水草は隠れ場所や水質の浄化にもなるんだ。
- 4 水温を合わせてから、容器に魚を入れよう。



流木やボットに活着した水草は、容器に  
入れるだけでレイア  
ウトでき、掃除も簡  
單なので便利だよ。

## おすすめ 商品

### アカヒレ用

(別名:コッパー)



### ひかりブチ

内容量:2g



### グラミー用

### 便利グッズ



### ネオプロス

内容量:10g



### ベタ用

ベタ用



### ひかりベタ

内容量:2g



### ひかりベタ アドバンス

内容量:5g



### 水ごとネット ベタ

全5色 内容量:120g

